

KENWOOD

デュアルサイズCASSETTE/CDレシーバー

DPX-5000

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Source Selection/Audio Control

Display/Clock Control

Function Control

Tape Mode

CD Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

Equalizer/Analyzer Control

● 使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation

Options

Remote Control

Help ? Operation ? Word

Help

ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションからの実務権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY
及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

© PRINTED IN JAPAN B64-1467-10 (+)
00/65432199/12 11 10 9 8 7 6 5

Contents

ここを読まなければ操作できない!
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた4

安全上のご注意6

使用上のご注意8

CDとカセットテープの取り扱い...10

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation12

リモコンでも操作できるゾ!

Remote Control

Remote Control46

Common Operation

Tuner Operation

Disc Operation

Tape Operation

SNPS/DNPS+SFB Operation

電池の入れかた

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら...
困ったときのお助けページ!

Help ? Operation ? Word

Help? Operation50

Help? Word56

付録

Appendices

取り付け時のご注意60

接続62

取り付け64

保証とアフターサービス66

仕様一覧67

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection/Audio Control14

ソース選択
オーディオコントロール

Display/Clock Control16

操作パネル角度調節
ALL OFFモード中表示切り替え
時刻合わせ

Function Control18

ファンクションセット
セキュリティコード

Tape Mode22

早送り/巻戻し
DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)
ドルビーB NRシステム
インデックススキャンプレイ
ブランクスキップ
リピートプレイ
テープポジションセレクター
プログラム
ディスプレイ表示切り替え

CD Mode24

トラックリピートプレイ
トラックスキャンプレイ
トラックランダムプレイ
トラックサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
ディスプレイ表示切り替え
テキストスクロール

Tuner Mode26

バンド切り替え
チューニング
オートメモリー
マニュアルメモリー
プリセットチューニング
ディスプレイ表示切り替え

Name Set / SBF28

SNPS (ステーションネームプリセット)
DNPS (ディスクネームプリセット)
チューナーSBF (セレクトバイファイル)
ディスクSBF (セレクトバイファイル)

DSP Control32

DSPシステム
サウンドフィールドの選択
ニュアンスレベルの調節
DSPバスブーストレベルの調節
コンプレッションレベルの調節
ポジションの選択
ルームサイズの選択
ユーザー設定のメモリー
ユーザー設定の呼び出し

Equalizer/Analyzer Control38

プリセットイコライザーモードの選択
イコライザーカーブの調節
ユーザー設定のメモリー
ユーザー設定の呼び出し
プリセットスペアナの選択
ブルースペアナの選択
ホワイトスペアナの選択

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control42

ディスクサーチ
トラックサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
トラック/ディスクリピートプレイ
トラックスキャンプレイ
トラックランダムプレイ
ダイレクトディスクサーチ
ディスクスキャンプレイ
マガジンランダムプレイ
ディスプレイ表示切り替え
タイトル/テキストスクロール

Source Selection/Audio Control

Display/Clock Control

Function Control

Tape Mode

CD Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

Equalizer/Analyzer Control

EZ Operation

Options

Remote Control

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

? Operation

Help

? Word

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

テープの操作
テープをプレイする操作を表しています。

CDの操作
CDをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。



1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押し操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、約1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには約2秒間押します。押し秒数は矢印中の表示を目安にできます。

すぐに使いたいたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

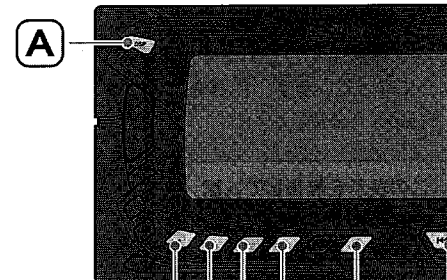
EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

DSP Control



この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

コンプレッションレベルの調節

ダイナミックレンジの圧縮レベルを調節します。

1 DSPコントロールをオンにします



2 コンプレッションレベルを選びます



ポジション

聴く位置

1 DS

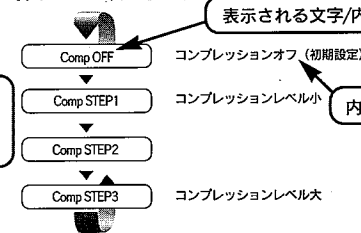


2 ボ



ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

押すたびに次の順で切り替わります

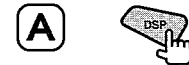


表示される文字/内容

内容の説明

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

3 DSPコントロールを終了します



Source Selection/Audio Control

Display/Clock Control

Function Control

Tape Mode

CD Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

DSP Control

Equalizer/Analyzer Control

EZ Operation

Options

Remote Control

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



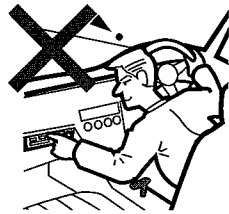
実施

Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

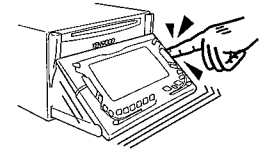
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止

カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機に接続できる

ディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C80, およびKMD-C30は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50、またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

なお、"CA-DS100"または"CA-KD20"を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A/S200を使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S210A/S200に付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206またはKMD-C30を接続した場合、これらのディスクチェンジャーの"O-Nスイッチ"は"N"側に設定してください。また、上記CDチェンジャー以外ではCDテキスト表示を行えません。

本機のDNPS機能はディスクチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、ディスクチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのディスクの合計で50枚まで記憶することができます。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

取り付け時の注意

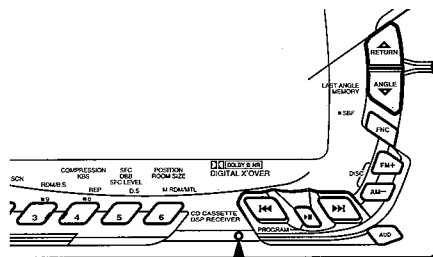
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- カセットテープやCDが取り出せない。
- カセットテープやCDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"Aux Mode"と表示される。
- KCA-S210Aが接続されていないのに"Aux Mode"と表示される。

リモコンの電池について

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消費していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてはしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

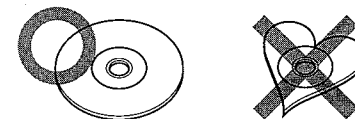
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

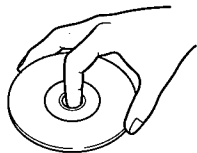
DISC MARKのマークの付いているCD以外は使用しないでください。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CDとカセットテープの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにします。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CDの保存

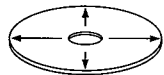
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

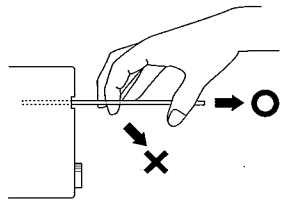
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



CD用アクセサリについて

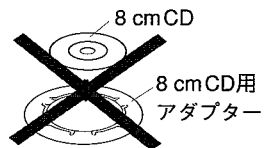
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

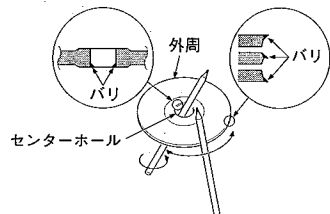
本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。



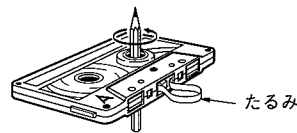
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

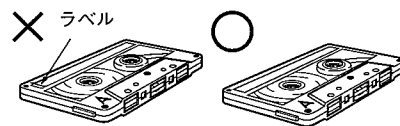


カセットテープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。




カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。


100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起りやすいので使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

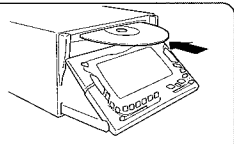
本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。


ディスクとテープのプレイは簡単！ ディスクまたはテープを差し込むだけです。


CDをプレイするときは…
 **CD OPEN/CLOSE** を押して操作パネルを開き、プレイするCDを差し込みます。CDが引き込まれパネルが閉まります。

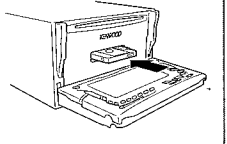
CDを取り出すときは…
 **CD OPEN/CLOSE** を押します。操作パネルが開き、CDがイジェクトされます。**CD OPEN/CLOSE** をもう一度押すとパネルは閉じます。

● CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで **CD OPEN/CLOSE** を押し続けてください。




カセットテープをプレイするときは…
 **TAPE OPEN/CLOSE** を押して操作パネルを開き、プレイするカセットテープを差し込みます。カセットが引き込まれパネル閉まります。

カセットテープを取り出すときは…
 **TAPE OPEN/CLOSE** を押します。操作パネルが開き、カセットテープがイジェクトされます。**TAPE OPEN/CLOSE** をもう一度押すとパネルは閉じます。




テープ/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。
 テープとディスクが入っているときに押すと、テープ、CD、FM/AM放送が切り替わります。

電源をオン/オフします。
 押すと電源がオンになります。1秒以上押すと、電源がオフになります。


音量を上げます。

音量を下げます。




音量をすばやく小さくします。
 もう一度押すと、元の音量に戻ります。

1秒以上押すと、交通情報を受信します。
 もう一度1秒以上押すと、元に戻ります。




メモリーされている放送局を選びます。
 2秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。



演奏を一時停止します。
 もう一度押すとプレイします。

再生方向を切り替えます。
 押すたびに、再生方向（A面とB面）が切り替わります。早送り/巻戻し、またはDPSS中に押すと、通常プレイに戻ります。

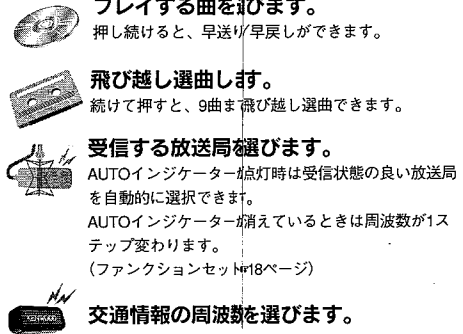


プレイする曲を選びます。
 押し続けると、早送り/早戻しができます。

飛び越し選曲します。
 続けて押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。


受信する放送局を選びます。
 AUTOインジケータ点灯時は受信状態の良い放送局を自動的に選択できます。AUTOインジケータが消えているときは周波数が1ステップ変わります。（ファンクションセットp18ページ）

交通情報の周波数を選びます。



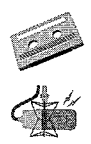
巻戻しします。

AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。



早送りします。

FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。

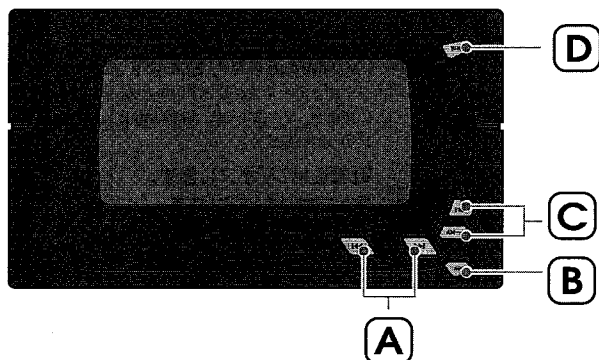


注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。
- 開いている操作パネルには無理な力をかけないでください。

- Source Selection/Audio Control
- Display/Clock Control
- Function Control
- Tape Mode
- CD Mode
- Tuner Mode
- Name Set / SBF
- DSP Control
- Equalizer/Analyzer Control

- Options
- Remote Control
- Help



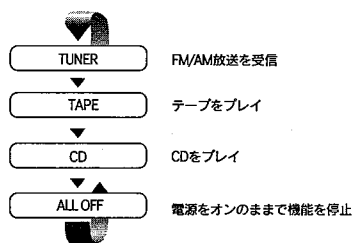
プレイするソースを選びます。
また、音量バランスなどを調節します。

ソース選択

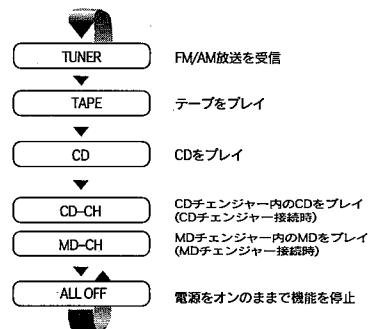
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。



オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールをオンにします



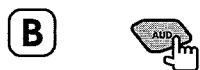
2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



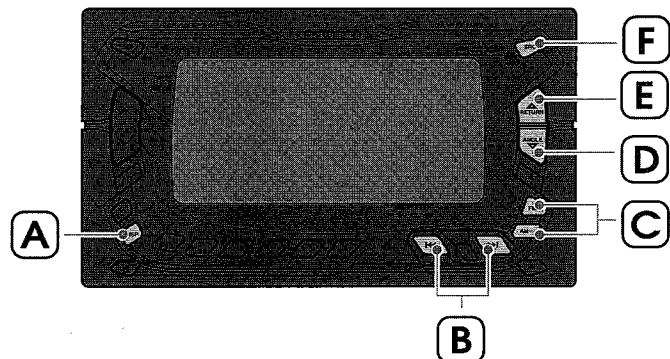
4 オーディオコントロールを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Balance (左右の音量レベル)	L15~R15
Fader (前後の音量レベル)	F15~R15
N-F (ノンフェーダーブリアウト出力レベル)	---~+10

● “N-F” 設定はファンクションセットの “Preout” 項目が “N-F” に設定されているときに選択できます。



操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドするには



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

❗ 電源をOFFにすると、数秒後パネルは閉じた状態になります。再び電源をONにすると調節した角度になります。

パネルを閉じるには



❗ テープモード中にパネルをスライドさせると、音声が一時的に消えます。

ALL OFFモード中表示切り替え

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

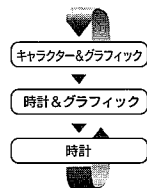
1 ALL OFFモードにします



2 表示を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



操作パネルの角度調節や、ディスプレイに表示される情報を切り替えます。また、時刻を合わせます。

時刻合わせ

時計を合わせます。

1 時計を表示します。



2 時刻合わせを開始します



DISPボタンを時刻表示が点滅するまで押し続けます。

3 “時” を合わせます



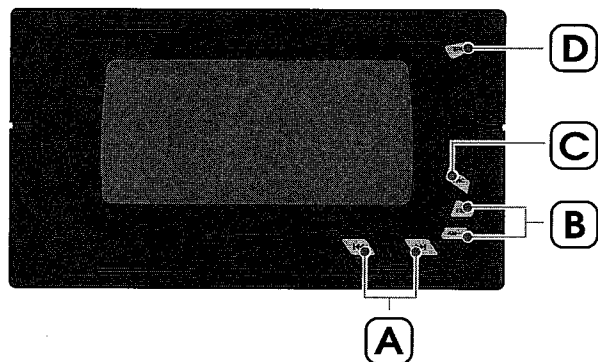
4 “分” を合わせます



5 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。



ファンクションセット

操作時のピーブ音などの各種の機能を設定します。

1 設定したい項目のあるモードにします



2 ファンクションセットモードにします



3 設定する項目を選択します



- 設定項目の詳細な機能説明はHelp(P.56)を参照してください。
- 右表の“条件”の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4 値を選択します



5 ファンクションセットモードを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

ALL OFFモード時

設定項目	設定値	条件
BEEP (ピーブ音)	On/Off	—
Preout (プリアウト出力選択)	Rear/N-F	—
Bright (ライトスイッチがオン時のディスプレイの明るさを設定)	01~04~13	車両のライトスイッチがON後にファンクションセットモードにする
D.X'over (デジタルクロスオーバーシステム)	On/Off	—
Amp Cont (外部アンプコントロール)	On/Off	—
Opening (電源オン時のオープニング画面モデル名表示)	On/Off	—
CODE STBY (セキュリティーコードの登録モード)	登録の方法は20ページをご覧ください。	セキュリティーコードが未設定時

(太字は初期設定値)

本機の各種の機能を設定します。

TUNER/CD/Changerモード時

設定項目	設定値	条件
HPF-F (フロント低音カット)	Off/30/60/90/120/150/180/250(Hz)	D.X'over設定"On"時
HPF-R (リア低音カット)	Off/30/60/90/120/150/180/250(Hz)	D.X'over設定"On"時
HPF Slope (低音カットスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)	D.X'over設定"On"時
LPF (ノンフェーダー高音カット)	Off/150/120/100/80/60(Hz)	D.X'over設定"On"、Preout"N-F"時
LPF Slope (高音カットスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)	D.X'over設定"On"、Preout"N-F"時
T-Alg F (フロント遅延時間)	OFF/0.5~18 (msec.)	D.X'over設定"On"時
T-Alg R (リア遅延時間)	OFF/0.5~18 (msec.)	D.X'over設定"On"時
T-Alg NF (ノンフェーダー遅延時間)	OFF/0.5~18 (msec.)	D.X'over設定"On"、Preout"N-F"時
Amp Cont (外部アンプバスブーストコントロール設定)	1(フラット)/2(+6 dB)/3(+12 dB)	Amp Cont設定"On"時

(太字は初期設定値)

TUNERモード時のみ

設定項目	設定値	条件
Seek (チューニングモード)	Auto/Manual	—
Mono (FM放送モノラルチューニング)	On/Off	FM放送受信時
AME Ready (オートメモリー)	登録の方法は26ページをご覧ください。	—

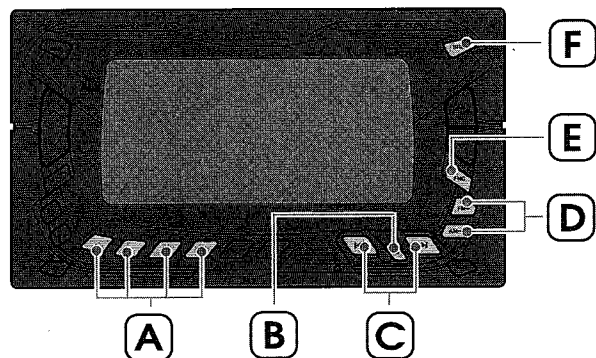
(太字は初期設定値)

CD/Changerモード時のみ

設定項目	設定値	条件
AT.SCRL (ディスクタイトル/CDテキストオートスクロール)	On/Off	チェンジャーのO-Nスイッチが"N"に設定時

(太字は初期設定値)

- MDプレイ時とCDプレイ時とで別々に設定できません。



セキュリティーコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティーコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

セキュリティーコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

設定したセキュリティーコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします



2 ファンクションセットモードにします



3 セキュリティーコード項目を選択します



4 セキュリティーコード入力状態にします



FMボタンまたはAMボタンを“CODE WRITE”と表示されるまで押し続けます。

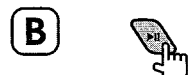
5 セキュリティーコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティーコードを登録します



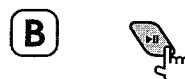
7 セキュリティーコードを再入力します



確認のためセキュリティーコードを手順5の方法で再度入力します。

手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティーコードの入力に戻ります。

8 セキュリティーコードを再登録します

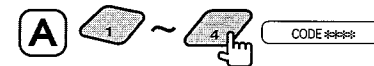


“CODE WRITE”と表示され、セキュリティーコードが登録されます。

セキュリティーコードの登録が完了後に、本機をバッテリーの接続から外す、またはリセットボタンを押すと、登録したセキュリティーコードの入力が必要になります。詳しくは以下をご覧ください。

本機をバッテリーから外してから、またはリセットボタンを押してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティーコードを入力します

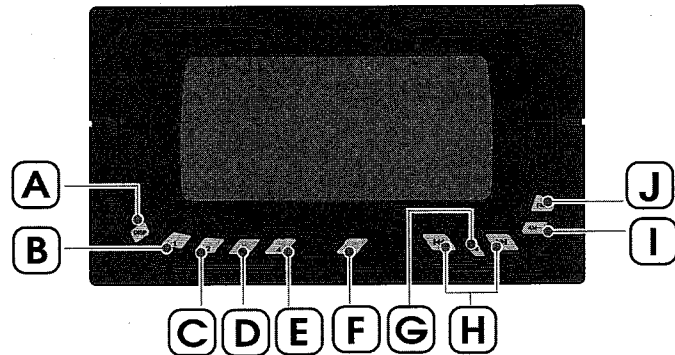


2 セキュリティーコードを確認します



“CODE OK!”と表示され、本機が使用可能となります。

セキュリティーコード登録時と違うコードを入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び電源をオンにしてから再度セキュリティーコードを入力してください。



カセットテープをいろいろにプレイします。
基本的なカセットテープのプレイ方法はEZ Operationで習得できます。

早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り



巻戻し



通常プレイに戻すには



DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。



連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

途中で中止するときは



ドルビー-B NRシステム

ドルビー-B NRシステムをオン／オフします。



押すたびに、ドルビー-B NRシステムがオン／オフされます。
ドルビー-B NRシステムを使用しているテープをプレイするときは、オンにします。

インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。
⏏ を押してもプレイされます。

ブランクスキップ

10秒以上続く無録音部分を早送りします。



押すたびに、ブランクスキップがオン／オフされます。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン／オフされます。

● DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

テープポジションセレクター

テープポジションのメタルのオン／オフをします。



押すたびに、メタルポジションがオン／オフします。
なお、メタルテープ (Type IV) またはクロムテープ (Type II) をプレイするときは、オンにします。

プログラム

テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



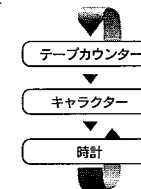
押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

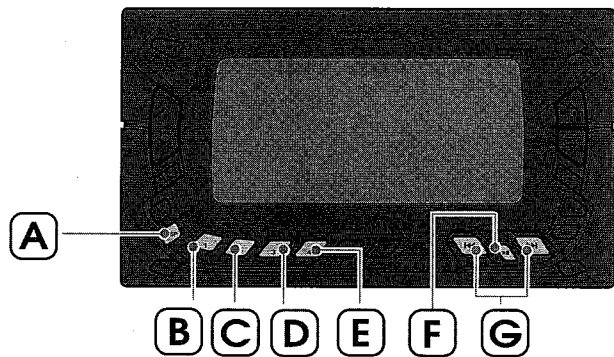
ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。





CDをいろいろにプレイします。
基本的なCDのプレイ方法はEZ Operationで習得できます。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。
を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

を押すと、次の曲の選択を開始します。

トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

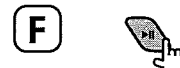
現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時的に停止します。



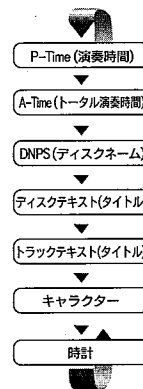
もう一度押すと、プレイを再開します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



テキストスクロール

CDテキスト対応のCDをプレイするときに、ディスクテキストやトラックテキストをスクロール表示します。

1 ディスクテキスト/トラックテキストにします

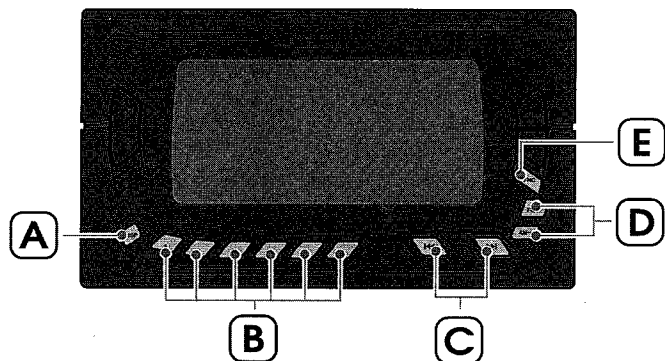


2 スクロール表示します



ディスクテキスト/トラックテキスト表示が1回スクロールします。

ファンクションセットのタイトル/テキストオートスクロールがOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。



FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



AM1とAM2を切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



チューニングモードがAutoのとき
(AUTOインジケーターが点灯しています。)

受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードがManualのとき

押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

(ファンクションセット 18ページ)

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 ファンクションセットモードにします



3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



FMボタンまたはAMボタンを周波数表示になるまで押し続けます。
6局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



押しているボタンの番号表示が、1回点滅するまで押し続けます。

プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます



2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます

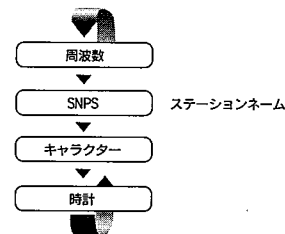


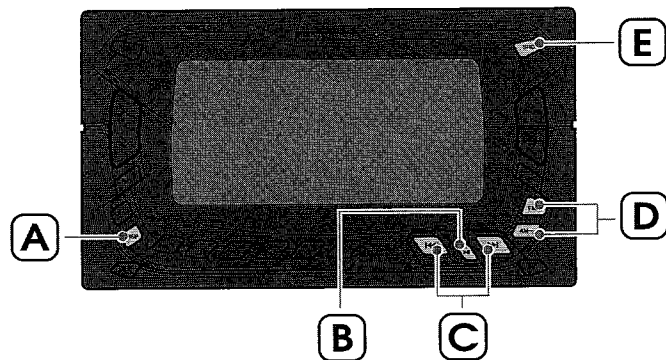
ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。





FM/AM放送局やディスクに名前を付けて表示させることができます (SNPS/DNPS)。
 ディスクテキストやディスクタイトル、DNPS、SNPSでディスクや放送局を選択することもできます (SBF)。

SNPS (ステーションネームプリセット)

FM/AM放送局に名前を付けます。
 FM/AM放送局に合わせて30局までステーションネームをセットできます。

1 チューナーモードにします



2 放送局を選びます

26ページを参照してください。

● ディスプレイ表示が時計のときには、SNPSは操作できません。

3 SNPSを開始します



DISPボタンを“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

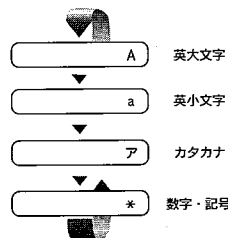
4 文字を入力する位置にカーソルを移動します



5 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



6 文字を選びます



7 4~6を繰り返して、すべての文字を入力します

8 SNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- バッテリーから外すとSNPSは消去されます。

DNPS (ディスクネームプリセット)

ディスクに名前を付けます。
 本機のCDプレーヤーとディスクチェンジャーで合わせて50枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるディスクをプレイします

- 時計表示中、ディスクスキャンまたはマガジンランダムプレイ中は、DNPSは操作できません。

2 DNPSを開始します



DISPボタンを“Name Set”と表示されるまで押し続けます。

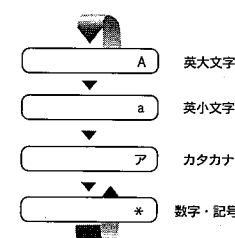
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます

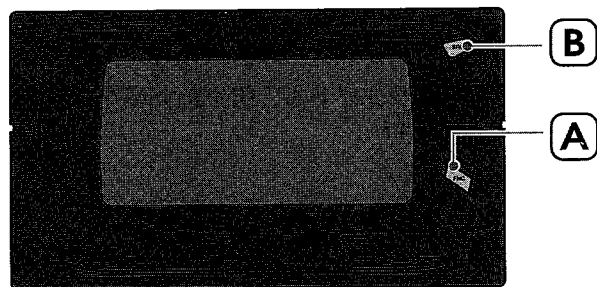


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDがセットされている場合には識別できません。
- 名前は8文字まで登録できます。
- バッテリーから外すとDNPSは消去されます。



チューナー-SBF (セレクトバイファイル)
メモリーボタンに記憶されているFM/AM放送局を名前で選択できます。

1 チューナーモードにします



2 チューナー-SBFを開始します



FNCボタンを“SBF SNPS”と表示されるまで押し続けます。
メモリーボタンに記憶されている放送局名が5秒間ずつ次々と表示されます。

3 聴きたいFM/AM放送局を選びます



表示中の放送局の受信をします。

- または でFM/AM放送局名を早送り/早戻しできます。
- でFM1/2バンドにメモリーされている放送局名に、 でAM1/2バンドにメモリーされている放送局名に切り替わります。
- SNPSで名前が登録されていない放送局は周波数が表示されます。

4 チューナー-SBFを中止するときは…



FNCボタンをチューナー-SBFを開始する前の表示に戻るまで押し続けます。

ディスクSBF (セレクトバイファイル)
MDやCDを名前で選択します。

1 CD-CH/MD-CHモードにします

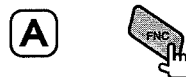


2 ディスクSBFを開始します



FNCボタンを“SBF DNPS”(CDの場合)、または“SBF Disc”(MDの場合)と表示されるまで押し続けます。
CDチェンジャー、またはMDチェンジャーのマガジンに入っているディスクのディスクネーム、またはディスクタイトルとディスクナンバーが5秒間ずつ次々と表示されます。

3 プレイするディスクを選びます



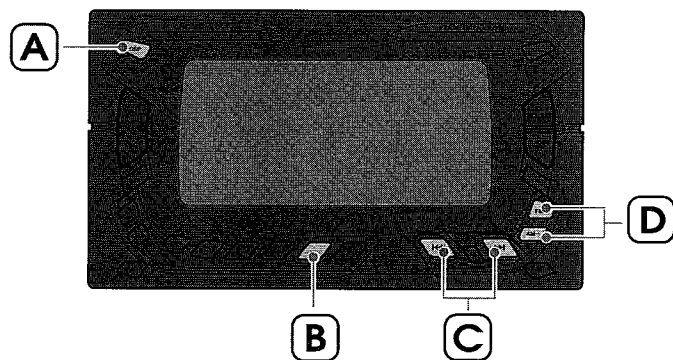
表示中のディスクをプレイします。

- または でディスク名を早送り/早戻しできます。
- DNPSで名前が登録されていないディスクやタイトルが記録されていないディスクは、“No Name”と表示されます。

4 ディスクSBFを中止するときは…



FNCボタンをディスクSBFを開始する前の表示に戻るまで押し続けます。



DSP (デジタルシグナルプロセッサ) の音響効果を調節できます。

DSPシステム

DSP機能を使います。

DSPシステムをオンにします



以降のDSP Control 内の操作は、DSPシステムがオンの状態で行います。

● DSPシステムのオンや設定・調整はALL OFFモードでは行えません。ALL OFFモード以外のモードで行ってください。

DSPシステムをオフにします



DSPボタンを“DSP Off”と表示されるまで押し続けます。

サウンドフィールドの選択

疑似音場効果を呼び出します。

1 DSPコントロールをオンにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 サウンドフィールドを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。

ニュアンスレベルの調節

DSPの効果のレベルを調節します。

1 DSPコントロールをオンにします

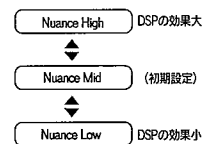


DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 ニュアンスレベルを調節します



押すたびに次の順で切り替わります。



● サウンドフィールドがバイパス“Bypass”の場合には調節できません。

3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。

DSPバスブーストレベルの調節

リア側での低音ブーストレベルを調節します。

1 DSPコントロールをオンにします

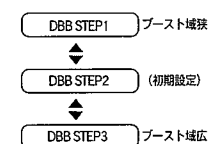


DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 バスブーストレベルを調節します

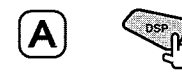


押すたびに次の順で切り替わります。

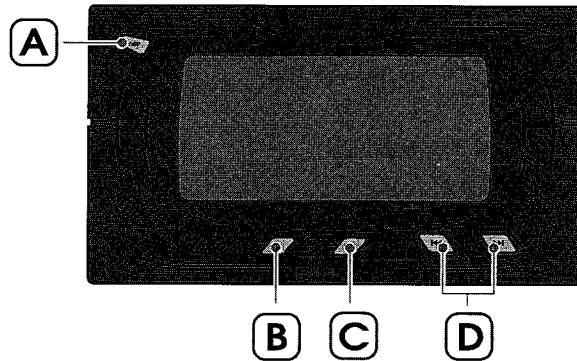


● サウンドフィールドがバイパス“Bypass”の場合には調節できません。

3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。



コンプレッションレベルの調節

ダイナミックレンジの圧縮レベルを調節します。ロードノイズなどに埋もれがちなレベルの小さな音を聴こえるようにできます。

1 DSPコントロールをオンにします

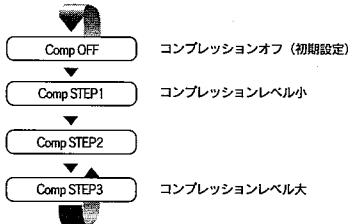


DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 コンプレッションレベルを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。

ポジションの選択

聴く位置に合わせてDSPの効果を調節します。

1 DSPコントロールをオンにします

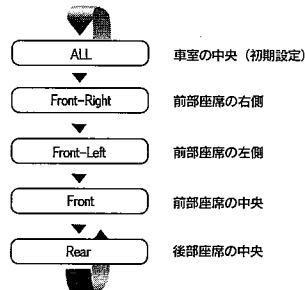


DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 ポジションを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



● バランス/フェーダーは中央位置で使用してください。

3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。

ルームサイズを選択

室内サイズやフロント/リアスピーカーの距離に合わせてDSPを調節します。

1 DSPコントロールをオンにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

2 ポジションを選びます

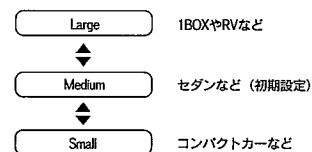


● ポジションが車室の中心“ALL”の場合には、ルームサイズは選択できません。

3 ルームサイズを選びます



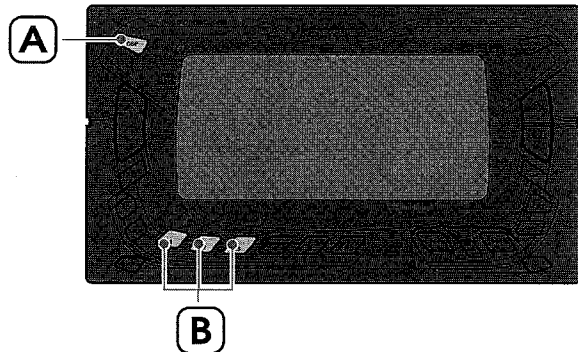
押すたびに次の順で切り替わります。



4 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。



ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 DSPを設定します

サウンドフィールド、ニュアンスレベル、バスブーストレベル、コンプレッションレベル、ポジション、ルームサイズを設定します。

2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



“DSP Memory○”表示が、1回点滅するまで押し続けます。

3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。

ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 DSPコントロールをオンにします



DSPシステムがオフのときは2回押します。

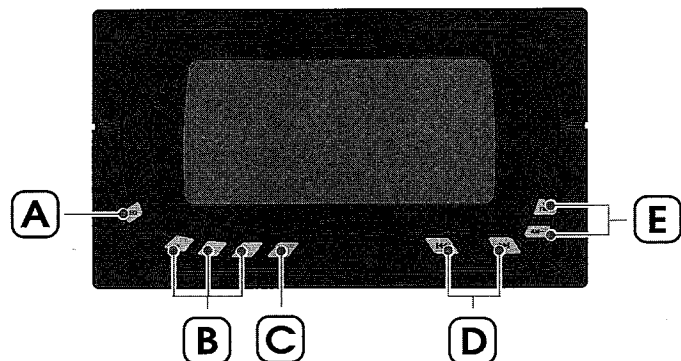
2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



3 DSPコントロールを終了します



または、10秒以上、何も操作しないでおきます。



イコライザーの調節ができます。
また、スペアナの選択もできます。

プリセットイコライザーモードの選択

すでにセットされているイコライザーカーブを呼び出します。

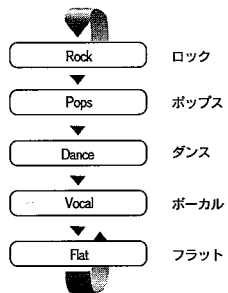
1 イコライザーコントロールをオンにします



2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



3 イコライザーコントロールを終了します



または、10秒間以上、何も操作しないでおきます。

イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

1 イコライザーコントロールをオンにします



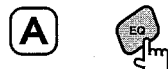
2 調節する周波数を選びます



3 レベルを調節します



4 イコライザーコントロールを終了します

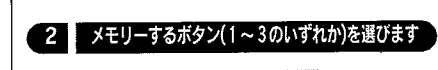


または、10秒間以上、何も操作しないでおきます。

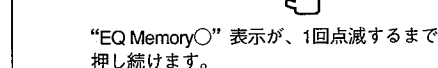
ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のイコライザーカーブ設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 イコライザーカーブを設定します



2 メモリーするボタン(1~3のいずれか)を選びます



3 イコライザーコントロールを終了します



または、10秒間以上、何も操作しないでおきます。

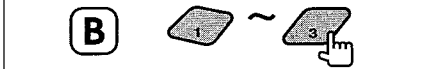
ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 イコライザーコントロールをオンにします



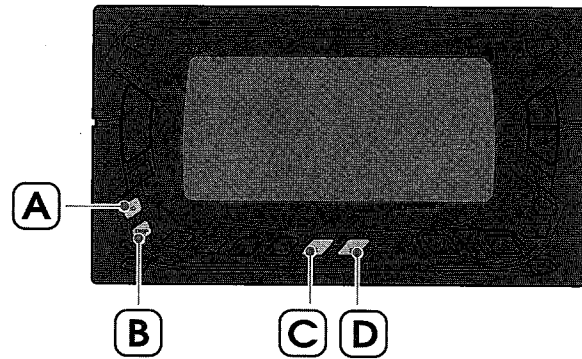
2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



3 イコライザーコントロールを終了します



または、10秒間以上、何も操作しないでおきます。



プリセットスペアナの選択

すでにセットされているスペアナ表示を呼び出します。

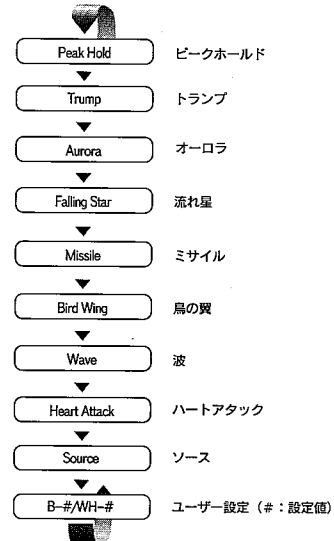
1 イコライザーコントロールをオンにします



2 スペアナ表示を選択します

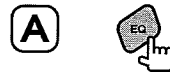


押すたびに次の順で切り替わります。



ブルースペアナとホワイトスペアナを別々に選択すると、その組み合わせがユーザー設定に登録されます。初期設定は、スキャン表示 (B-scn/WH-scn) です。プリセットスペアナを次々に切り替えて表示します。

3 イコライザーコントロールを終了します



または、10秒間以上、何も操作しないでいきます。

ブルースペアナの選択

ブルーのスペアナ表示のみを選択します。

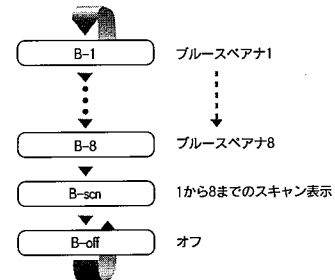
1 イコライザーコントロールをオンにします



2 ブルースペアナ表示を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



3 イコライザーコントロールを終了します



または、10秒間以上、何も操作しないでいきます。

ホワイトスペアナの選択

ホワイトのスペアナ表示のみを選択します。

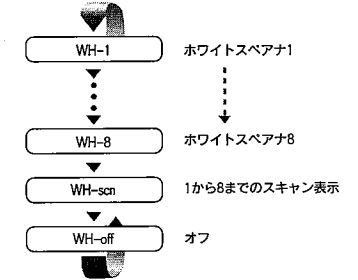
1 イコライザーコントロールをオンにします



2 ホワイトスペアナ表示を選択します



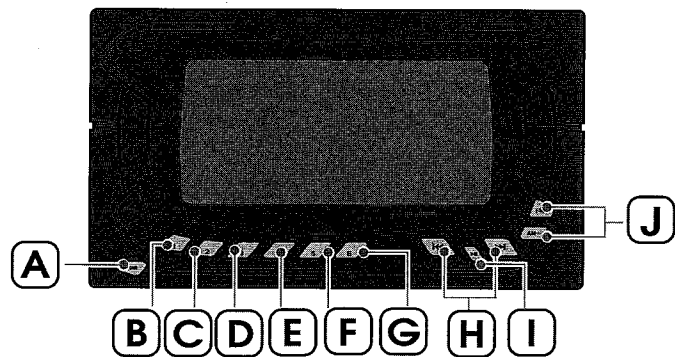
押すたびに次の順で切り替わります。



3 イコライザーコントロールを終了します



または、10秒間以上、何も操作しないでいきます。



別売品のCDチェンジャー、またはMDチェンジャーを接続しているときは、本機からコントロールできます。

ディスクサーチ

プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

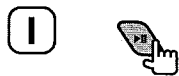
現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時的に停止します。



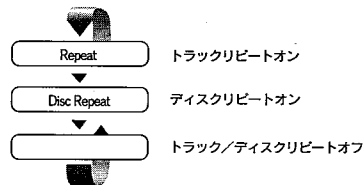
もう一度押すと、プレイを再開します。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲、またはディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに次の順で切り替わります。



トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。
⏮ を押してもプレイされます。

すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

⏮ を押すと、次の曲の選択を開始します。

ダイレクトディスクサーチ

チェンジャー内のディスクをダイレクトに選ぶことができます。

1 ダイレクトディスクサーチモードにします



10秒間何も操作しないと、ダイレクトディスクサーチモードは終了します。

2 ディスクナンバー (1~6のいずれか) を選びます



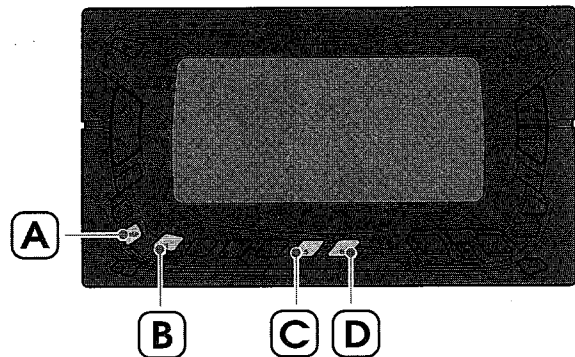
ディスクナンバー7~10を選ぶときは



押しているボタンのディスクナンバーが表示されるまで押し続けます。

途中で中止するときは





ディスクスキャンプレイ

マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探すことができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



2 聴きたいディスクのところで...



そのディスクからプレイします。
5 を押してもプレイされます。

- すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

マガジンランダムプレイ

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

- 5 を押すと、次の曲の選択を開始します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



- 接続するユニットにより、表示される情報は異なります。

タイトル/テキストスクロール

ディスク/トラックタイトルやCDテキストをスクロール表示します。

1 タイトルまたはテキスト表示にします



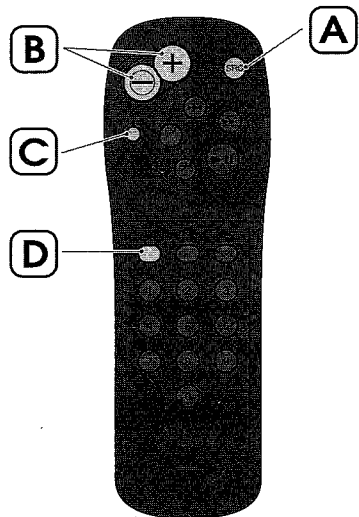
2 スクロール表示します



ディスク/トラックタイトルまたはCDテキスト表示が1回スクロールします。

- ファンクションセットのタイトル/テキストオートスクロールがOffに設定されているときでも、この方法でスクロール表示することができます。

Common Operation



ソース切り替え

A プレイするソースを切り替えます。

音量調節

B 音量を調節します。

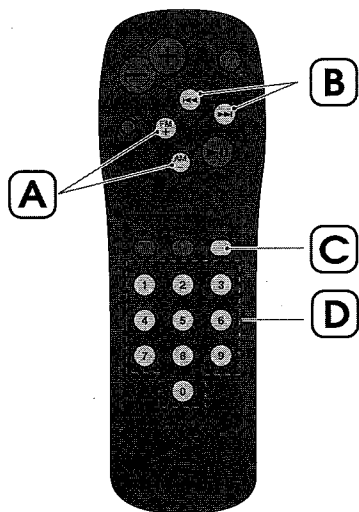
アツテネーター

C ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

パネル角度調節

D 操作パネルをスライドさせて角度を調節します。パネルが最終レベルまでスライドしているときは、パネルを閉じます。

Tuner Operation



バンド切り替え

A 受信するバンドを切り替えます。

選局

B 受信する放送局を選択します。

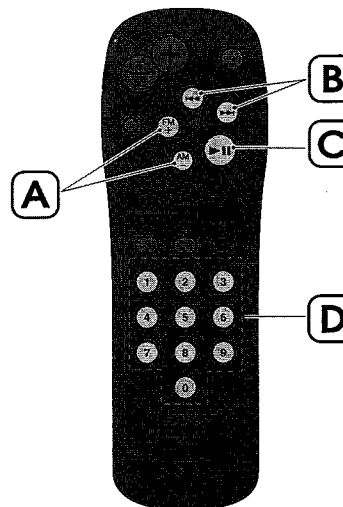
ダイレクトサーチ

C このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）
⑦⑥①
例：1242kHz(AM)の場合（4桁）
①②④②

テンキー

D メモリーされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

Disc Operation



ディスクサーチ

A 外部ディスクチェンジャー内でプレイするディスクを選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ

B プレイする曲を選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ

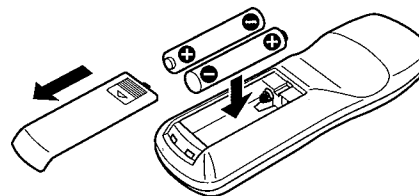
C プレイを一時停止します。もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D DIRECTキーに続けて、プレイする曲のディスク番号の数字を指定します。また、テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

電池の入れかた

付属の電池（単四型2本）を⊕/⊖の向きを正しく合わせて入れてください。

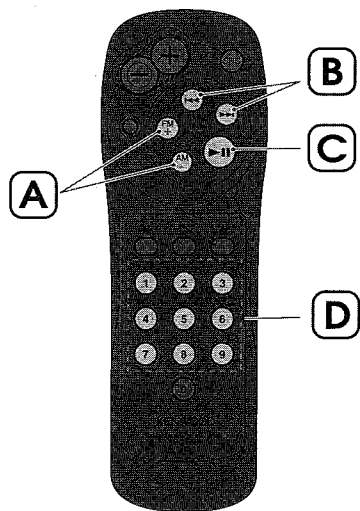


注意

リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

Tape Operation



早送り/巻戻し

A テープを早送り/巻戻しします。

DPSS

B 次の曲または現在の曲の先頭/前の曲へ飛び越し選曲します。

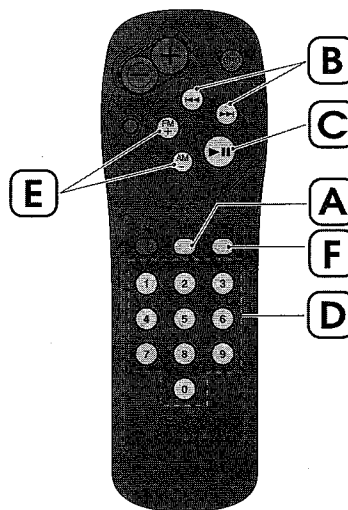
プログラム

C テープの再生方向 (A面/B面) を切り替えます。早送り、早戻し、DPSS中に操作すると、それぞれ解除されます。

テンキー

D 飛び越す曲数を指定し、 または を押します。

SNPS/DNPS + SBF Operation



SBFモード切り替え(SBFのみ)

A SBFモードになります。一度押すとSBFモードになり、もう一度押すとSBFモードを解除します。

カーソル(SNPS/DNPSのみ)

B カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え(SNPS/DNPSのみ)

C 入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ/数字・記号) を切り替えます。

テンキー(SNPS/DNPSのみ)

D 文字を入力します。
例: 「コ」を入力する場合 (カタカナ)
② (5回押す)
例: 「h」を入力する場合 (英小文字)
④ (2回押す)

文字選択(SNPS/DNPSのみ)

E 文字を順に切り替えます。

終了

F SNPS/DNPSモードで押すと、登録完了となります。SBFモードで押すと、選択した放送局やディスクを呼び出します。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- アッテネーターがオンになっている。
- ヒューズが切れている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- 入出力ケーブル、電源コードなどの接続が間違っている。

- 音量を適度に上げてください。
- アッテネーターをオフにしてください。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。
- 「接続」(62ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルがスライドしている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。

- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CD-CH/MD-CHに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。

- 接続されていないソースには切り替わりません。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

オーディオコントロールのN-F項目が表示されない

- ファンクションセットのPreout項目がRearに設定されている。

- ファンクションセットのPreout項目をN-Fに設定します。(18ページ)

Tape mode

カセットテープが入らない

- すでにカセットテープが入っている。
- カセットハーフが変形している。
- 逆向きに入れようとした。

- 入っているカセットテープを取り出してください。
- 他のカセットテープを使用してください。
- カセットテープが見える面を右にして入れてください。

SRCボタンを押しても、テープに切り替わらない

- カセットテープがセットされていない。
- 正しく接続されていない。

- カセットテープをセットしてください。
- 「接続」(62ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

テープでDPSS、リピート、インデックススキャンできない

- 曲間の無録音部分が短すぎる。

- 曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

曲の途中で早送りされる

- 録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。

- ブランクスキップをオフにしてください。

ブランクスキップされない

- 無録音部分の雑音が大きいです。

- 雑音が小さくなるように録音してください。

曲の先頭しかプレイしない

- インデックススキャンプレイがオンになっている。

- インデックススキャンプレイをオフにしてください。

音質が悪い

- テープポジションセレクターの設定が違っている。

- プレイしているテープのポジションを確認してください。

CD/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない

ディスクがセットされていない。 → プレイするディスクをセットしてください。

ディスク (CD) が入らない

すでにディスクが入っている。 → 入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする

●取り付け角度が30°を超えている。
●取り付けが不安定になっている。 → ●30°以下になるように取り付けしなおしてください。
●しっかりと取り付けしなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

●CDが裏返しである。
●CDが異常に汚れている。
●結露している。
●CDが内部的に検出されていない。 → ●レーベル面を上にして入れなおしてください。
●「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
●しばらく放置してから使用してください。(9ページ)
●リセットボタンを押してCDを取り出しから、再度CDを挿入してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。 → トラックランダムプレイをオフにしてください。

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。 → トラックリピートをオフにしてください。

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキッププレイがオンになっている。 → トラックスキッププレイをオフにしてください。

チェンジャー内の同じディスクだけがプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。 → ディスクリピートプレイをオフにしてください。

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。 → トラックランダムプレイをオフにしてください。

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。 → マガジンランダムプレイをオフにしてください。

CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。 → CD OPEN/CLOSEボタンをCDがイジェクトされるまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

●情報文字数が12文字以下のため。
●ディスクネームを表示しているため。 → ●表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
●スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。 → ディスクを2枚以上挿入してください。

マガジンランダム、ディスクスキャンプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。 → ディスクを2枚以上挿入してください。

Name Set / SBF

DNPSができない

本機またはKMD-C30でMDをプレイしている。 → 本機およびKMD-C30ではMDにDNPSはできません。

DNPS、SBFができない

ディスクスキャン、マガジンランダムがオンになっている。 → ディスクスキャン、マガジンランダムをオフにしてください。

SNPS表示にしても“No Name”と表示される

ステーションネームが登録されていない。 → ステーションネームを登録してください。

タイトル表示に切り替えても“No Title”と表示される

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない。 → MDにディスクタイトルなどを記録すると表示されます。

登録したはずのステーションネームが消えた

●31局目のステーションネームを登録した。
●本機をバッテリーから外したため。 → ●登録できるステーションネームは30局分です。
●本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

●51枚目のディスクネームを登録した。
●本機をバッテリーから外したため。 → ●登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCD/MDチェンジャーを合わせて50枚分です。
●本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

ディスク名前がまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

ステーション名前やディスク名前が登録されていない。

ステーション名前やディスク名前を登録してください。

SBFで名前が表示されず “No Disc/No Access” と表示される

●プレイヤーやマガジンにディスクが入っていない。
●一度もディスクをプレイしていない。

●ディスクを入れてください。

●ディスクスキャンを使用するなどしてディスクをプレイしてください。

DSP Control

DSP効果が得られない

●2スピーカーシステムになっている。
●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
●スピーカーの極性が逆に接続されている。
●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

●「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。

●フェダーやバランスを正しく調整してください。

Nuance、DBBが調整できない

●コンプレッション調整モードまたはポジション選択モードになっている。
●サウンドフィールドが“Bypass”に設定されている。

●“5” ボタンを押してサウンドフィールド選択モードにしてください。

●サウンドフィールドを“Bypass”以外に設定してください。

ルームサイズの調整ができない

ポジションが“ALL”に設定されている。

ポジションを“ALL”以外に設定してください。

Function Control

Bright項目が表示されない

●車両のライトスイッチがオフになっている。
●イルミネーションコードが接続されていない。

●車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットモードをオンにしてください。
●「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。

HPF-F、HPF-R、HPF Slope設定、T-Alg F、T-Alg R項目が表示されない

D.X'over設定項目がOffに設定されている。

D.X'over設定項目をOnに設定してください。

LPF、LPF Slope設定、T-Alg NF項目が表示されない

●D.X'over設定項目がOffに設定されている。
●Preout項目がRearに設定されている。

D.X'over設定項目をOn、Preout項目をN-Fに設定してください。

Amp Cont項目が表示されない

Amp Cont項目がOffに設定されている。

Amp Cont項目をOnに設定してください。

SCRL項目が表示されない

●使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。
●使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

●“O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーをご使用ください。
●ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

ノンフェター出力にハイパスフィルターがかかる

リア出力にハイパスフィルターをかけていた。

電源を一度オフしてからオンにしてください。

セキュリティーコード項目が表示されない

すでにセキュリティーコードを設定してある。

セキュリティーコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティーコードを忘れた

セキュリティーコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

BEEP

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

HPF-F/HPF-R

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

HPF Slope

(ハイパスフィルタースロープ)

HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

LPF

(ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF Slope

(ローパスフィルタースロープ)

LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

T-Alg F/T-Alg R/T-Alg NF

(フロントタイムアライメント/リアタイムアライメント/ノンフェーダータイムアライメント)

フロント、リア、ノンフェーダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能のため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

T-Alg Fは音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

T-Alg RやT-Alg NFは前方定位や低音間増強、臨場間の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファーの音集性が向上します。

Amp Cont

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AT.SCRL

(オートスクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長い場合ディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“On”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

Seek

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

“Auto”に設定しているときに◀▶ボタンを押すと放送局を自動的に見付け出し、“Manual”に設定しておく、1ステップずつ周波数を変えることができます。

Preout

(プリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力(ノンフェーダー出力“N-F”)に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないでサブウーファー用の出力に活用できます。

D.X'over

(デジタルクロスオーバーシステム)

ファンクション項目のHPF-F、HPF-R、HPF Slope、LPF、LPF Slope、T-Alg F、T-Alg R、およびT-Alg NFの調整内容を有効(Onに設定)にするか、無効(Offに設定)にするかの設定ができます。

これらの処理をデジタル処理することによりアナログとは違い、周波数特性のバラツキや音質劣化を解消することができ、24dB/Oct.という急傾斜の減衰スロープを実現しています。

Opening

(オープニング画面モデル名表示)

電源をオンにしたときの、本機のモデル名表示の有無を設定できます。

CODE STBY

(セキュリティコード)

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

Mono

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品の、CDチェンジャー(KDC-C310、KDC-C306など)、MDチェンジャー(KMD-C80、KMD-C30)です。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- Aux Mode** : 別売品のKCA-S200/S210AのCH1またはCH2端子にディスクチェンジャーが接続されていない。
- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-HOLD** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- No Name** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- No Title** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。



: テーププレーヤーが正常に動作していない。
→テープを取り出してから、テープを入れなおしてください。



: CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを取り出しから、CDを入れなおしてください。

取り付け時のご注意

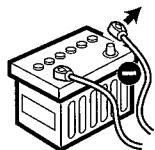
警告



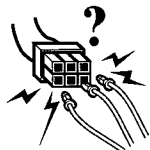
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース専用です。



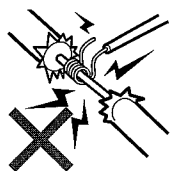
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



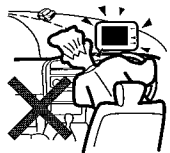
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



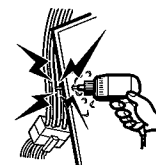
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



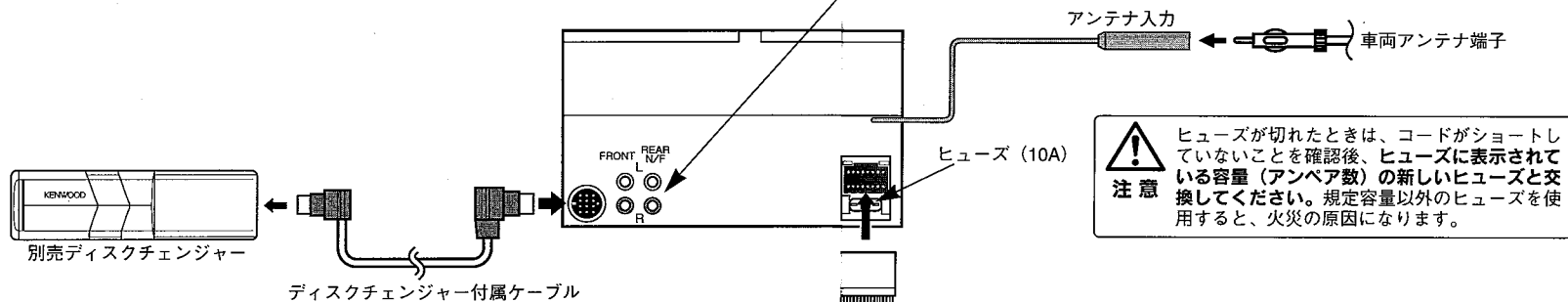
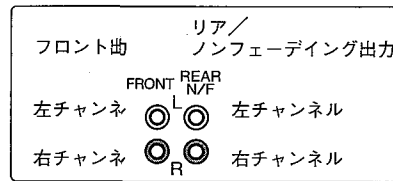
本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

! 初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

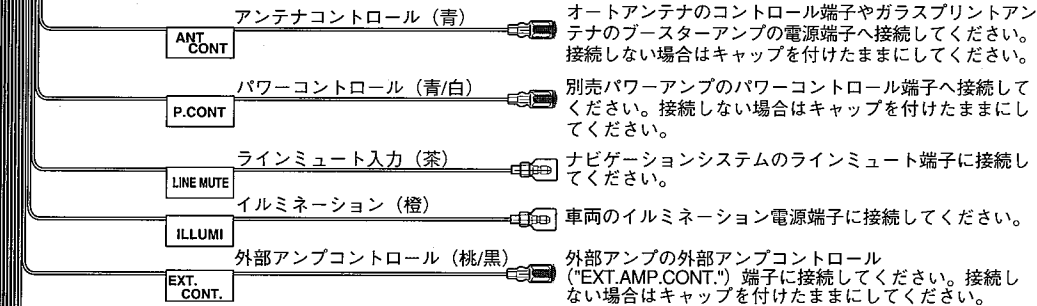
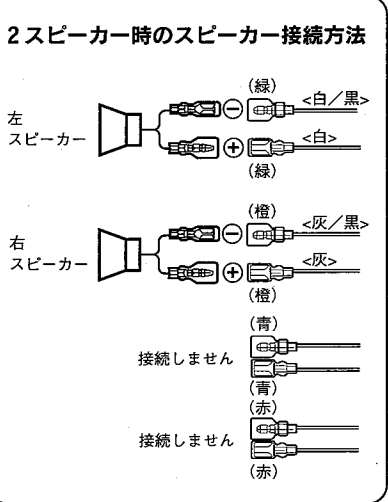
- 実施**
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
 2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
 3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
 4. 電源ハーネスのコネクタをDPX-5000に接続します。
 5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
 6. 本機のリセットボタンを押します。



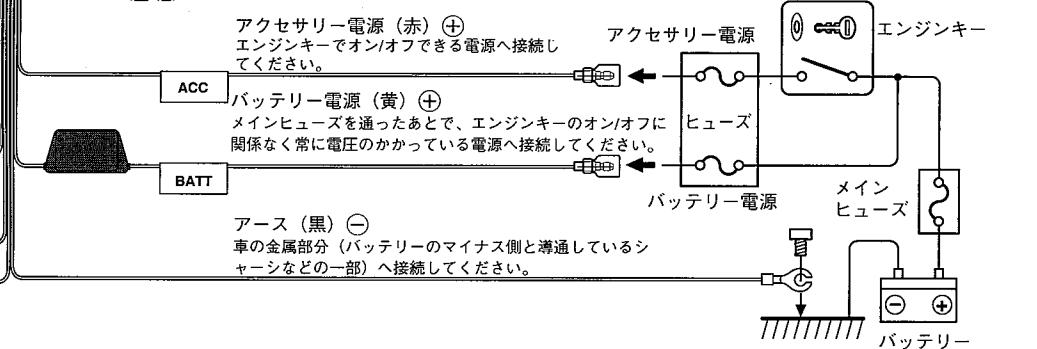
注意 ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

- KDC-C310、KDC-C306、KDC-C210、KDC-C206、KMD-C30を接続する場合は、ディスクチェンジャーのO-Nスイッチを“N”に設定してください。
- MD6、MD66、C705i、C705srを接続する場合はCA-KD20が必要です。

電源ハーネス



注意 このコードはアンプの音質などを本機からコントロールするためのものです。パワーアンプの電源のオン/オフをコントロールするコードは上記“パワーコントロール（青/白）”です。



取り付け

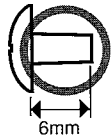
付属のネジ (M5×6mm) 6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



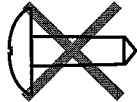
注意

- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
- 取り付け前にCDの動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。



付属取付ネジ



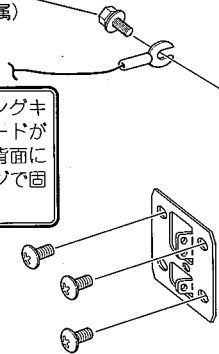
その他のネジ



付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5×6mm)	6
	セムスネジ (M4×8mm)	1

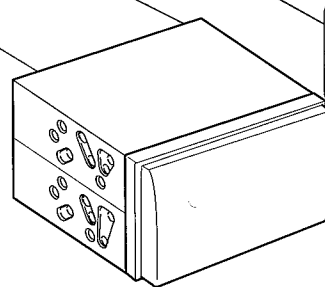
セムスネジ (M4×8mm) (付属)



別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。

DPX-5000

車両ブラケットなど

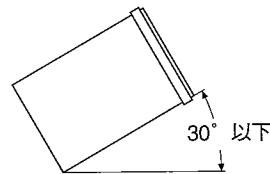


トラスネジ (M5×6mm) (付属)



注意

本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:30 dB)
S/N 50 dB感度
周波数特性 (±3.0 dB)
S/N比
選択度 (±400 kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
30 Hz~15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
28 dB μ (25 μ V)

カセットテーププレーヤー部

テープスピード
ワウ & フラッター
早送り・巻き戻し時間
周波数特性 (±3 dB)
ステレオセパレーション
S/N比 (IHF-A)

4.76 cm / 秒
0.08 % (WRMS)
100秒 (C-60)
25 Hz~22 kHz (70 μ s)
40 dB (1 kHz)
60 dB (Dolby B NR OFF)
68 dB (Dolby B NR ON)

CDプレーヤー部

レーザー
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高周波歪率
S/N比
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780$ nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
500~200 rpm (線速度一定)
測定限界以下
10 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
93 dB (1 kHz)
93 dB
85 dB

オーディオ部

最大出力
定格出力
プリアウトレベル
プリアウトインピーダンス

40 W x 4
26 W x 4 (4 Ω 、1kHz、10%THD)
1500 mV / 10 k Ω
600 Ω 以下

DSP / EQ部

A/Dコンバーター
D/Aコンバーター
イコライザー中心周波数 (Hz)
可変範囲

3次 $\Delta\Sigma$ 方式 20 bit 128倍オーバーサンプリング
3次 $\Delta\Sigma$ 方式 20 bit 128倍オーバーサンプリング
60/120/250/500/1 k/2 k/4 k/8 k/16 k
±12 dB

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V (11~16 V)
10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W x H x D)
質量 (重さ)

178 x 100 x 155 mm
3.1 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ (M5 x 6mm)
セムスネジ (M4 x 8mm)
リモコン

1本
6本
1本
1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。